

平成28年度東京大学宇宙線研究所共同利用研究成果発表会
2016年12月9日 東京大学宇宙線研・柏図書館メディアホール

跡津川断層周辺での 地殻活動定常観測点の高性能化

大見士朗・加納靖之

京都大学防災研究所

謝辞：坑内-坑外ネットワークを使わせていただきありがとうございます。

査定額：0円

概要

■ 跡津観測点

- 神岡鉦山-410 m準
- 共同利用：神岡鉦山内に設置した地震計等のデータをリアルタイム伝送し、跡津川断層を中心とする中部日本の地震活動や地殻活動のモニターを行う。
- 高感度地震観測
 - 上宝観測所の定常観測網内の一点
- 地下水・地殻変動観測
 - 地下空間を利用した観測

上宝観測所

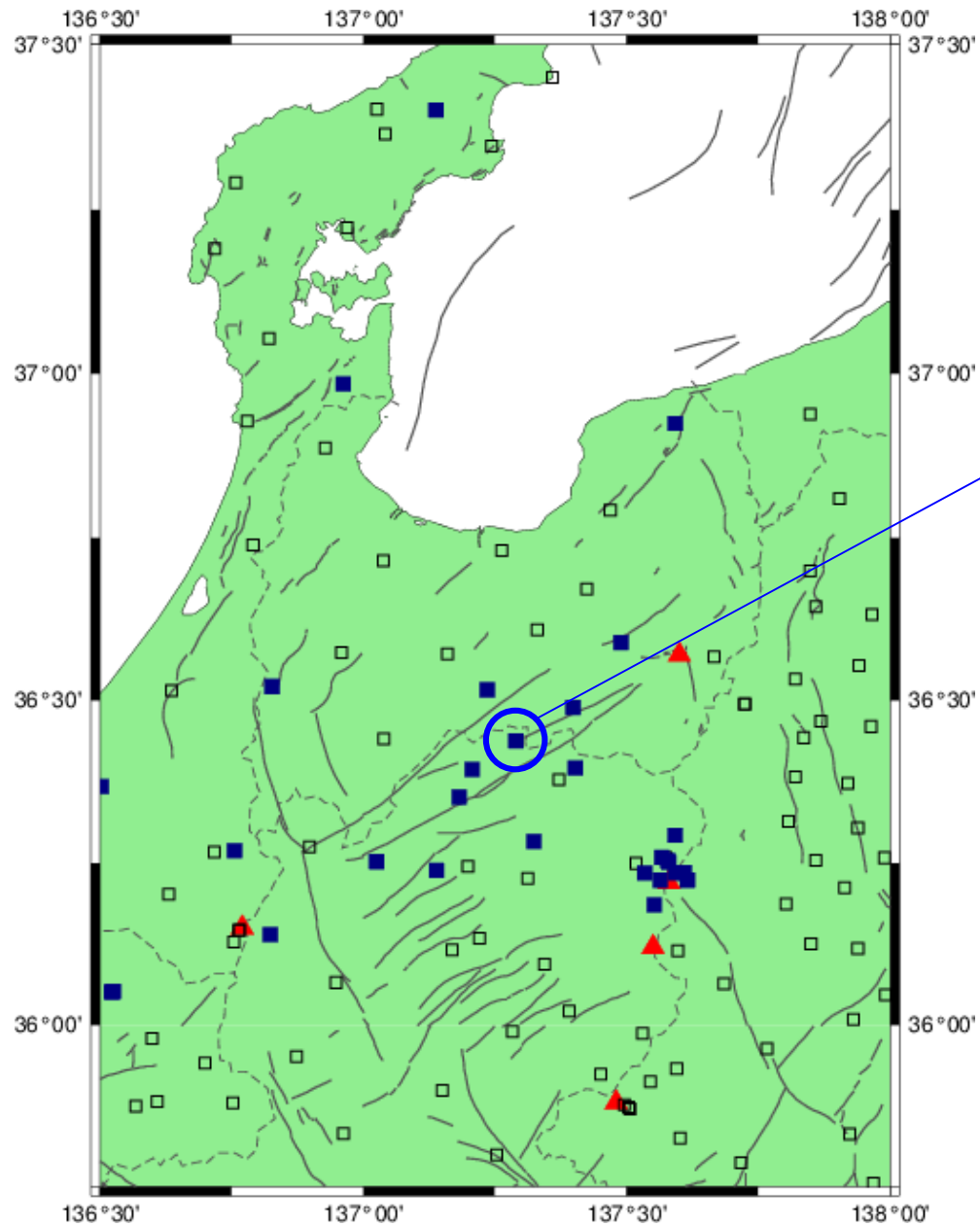
■ 1965年～

- 第1級の活断層である跡津川断層
- 旧上宝村からのご支援
- 海からの遠い場所での地殻変動観測

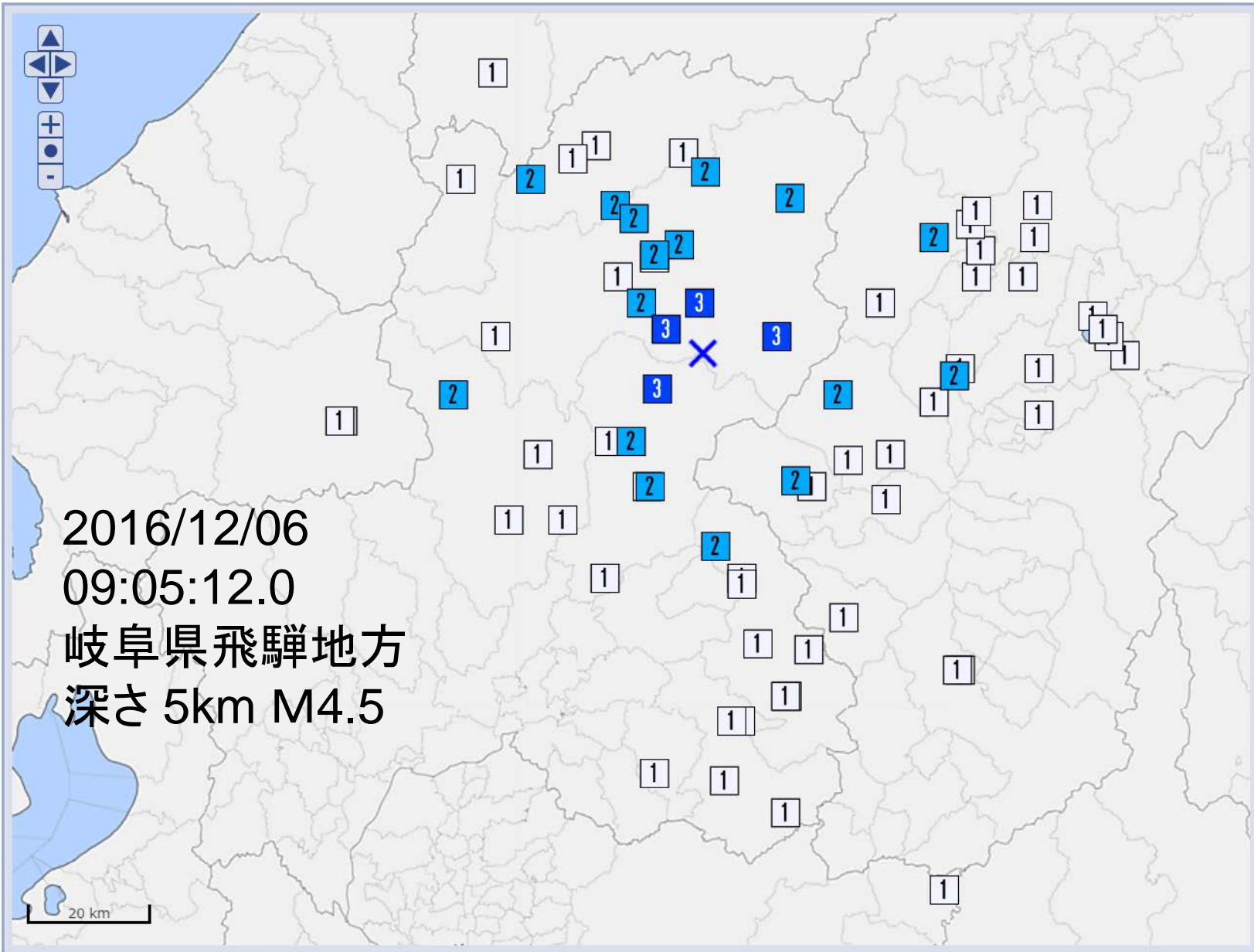
■ 現在

- 中部地方中北部の広域的な地震活動や深部地殻構造、さらには飛騨山脈脊梁の火山活動等の地殻活動の研究
- これらに基づく防災関連情報等での協力による地元への貢献

上宝観測所の観測網



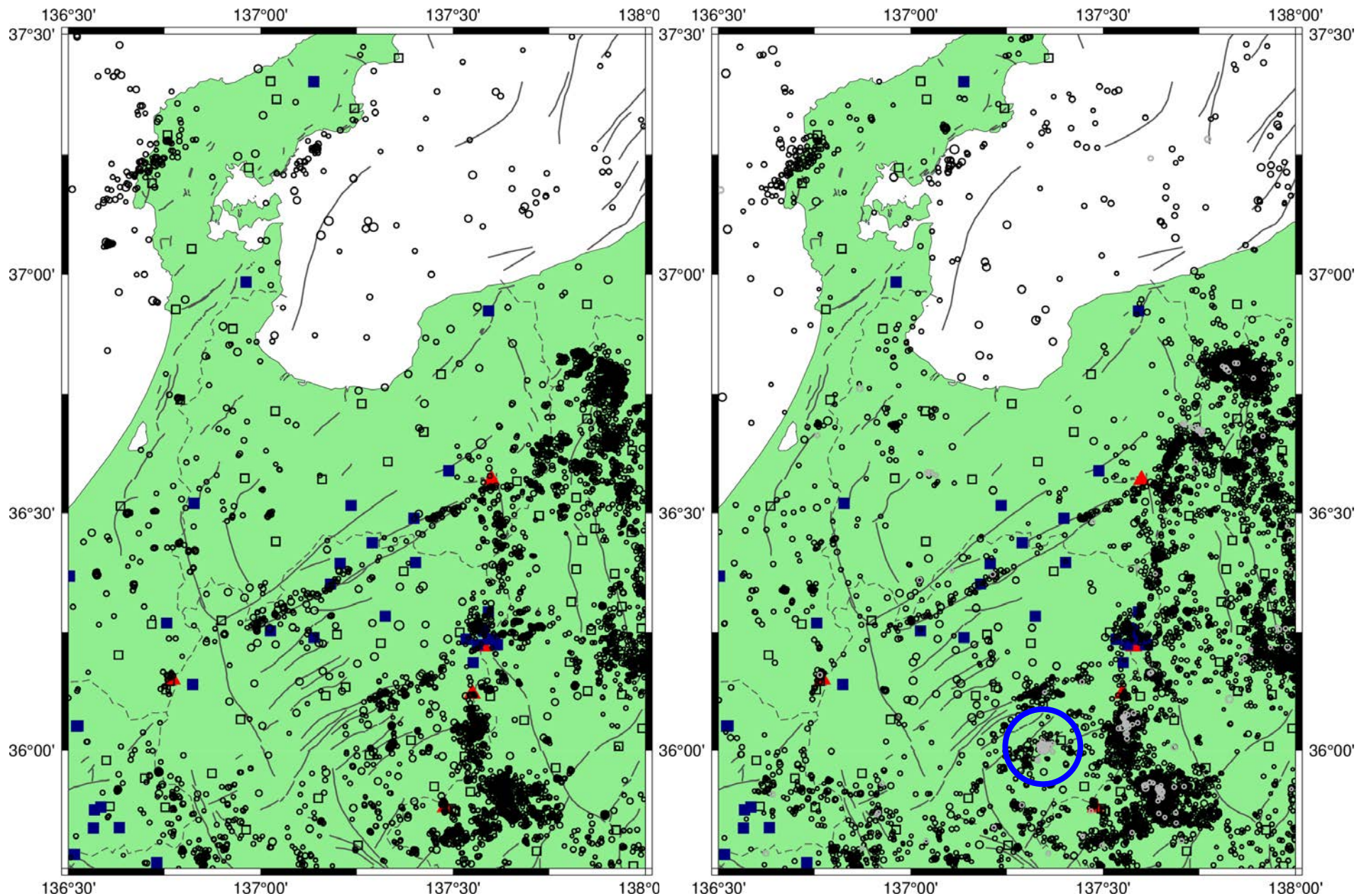
跡津
(DP.ATS)



- × 震央
- 7 震度 7
- 6+ 震度 6 強
- 6- 震度 6 弱
- 5+ 震度 5 強
- 5- 震度 5 弱
- 4 震度 4
- 3 震度 3
- 2 震度 2
- 1 震度 1

最近の地震活動 (2015年・2016年)

気象庁一元化震源カタログ



1858年 安政飛越地震

- 1858年4月9日（安政5年2月26日）
 - M 7.0~7.1
 - 飛驒・越中・加賀・越前
 - 飛驒北部・越中で被害が大きく，飛驒で潰家319，死203，山崩れも多かった。
 - 常願寺川の上流が堰止められ，後に決壊して流出および潰家1600余，溺死140の被害。
 - 跡津川断層の運動によると考えられる。

(理科年表「日本付近のおもな被害地震年代表」より)

一、安政五年四月 茂住銀山村山内増谷同鉛山潰敷取明方願書

一、安政五年四月

茂住銀山村山内増谷同鉛山地震潰敷取明方願書

乍恐以書付奉願上候

吉城郡茂住村銀山茂住谷筋小字増谷同鉛稼方奉願上候處、先般御見分被成下之處、地震二而山崩敷内居小屋共皆潰いたし候得共、近々取明稼方仕度奉存候間、御運上之儀者、被仰付次第急度上納仕候間、右之段以口上書奉願上候、以上

安政五年四月

稼人 船津町村 東屋 文七

同断 一之宿村 清左衛門

高山町 屋貝文次右衛門

高山 御役所

一一大野郡旭村新井家文書

